

【2017年度 第3回】

法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科入学試験問題

外国人・小論文

問題

以下の資料を読み、設問に答えなさい。

[資料]

(A) 外国人労働者の「日本離れ」が静かに進んでいる。韓国や台湾などが受け入れを進め、獲得競争が激しくなっているためだ。日本で働く魅力だった給与などの①待遇面も、差は急速に縮まる。日本の外国人労働者は今年中に100万人の大台を突破する見通しだが、今後、より一層の受け入れ拡大にカジを切っても外国人が来てくれない②懸念が強まってきた。

「月給30万円なんて出せない」。東京・赤坂にある老舗の中国料理店の店主は嘆く。アルバイトを募集したところ、それまでの2倍の給料を中国出身の若者に要求された。これまでの給料だと「中国で働くのと変わらない」と相手にされない。店主は「年中無休」の看板を下ろし、店も早く閉めるようになった。

上海市の平均月収は、2014年の統計でも5451元（約9万円）に達し、上昇を続ける。アジア域内での経済力の③盛衰は労働人口の減少に悩む日本の地方にも及ぶ。

外国人労働者のうち中国人が7割を超えていた愛媛県。同県中小企業団体中央会は今年1月、ミャンマー政府と技能実習生の受け入れ協定を結んだ。愛媛県の最低賃金でフルタイムで働いた場合の月収は約11万円で中国の都市部と大差ない。中央会の担当者は「日本に来るメリットがなくなっている」と分析する。

(B) 厚生労働省によると、日本で働く外国人は15年10月時点で技能実習生や日本人と結婚した人らを含め90万7896人。3年連続で過去最高を更新した。うち中国が3分の1を占め、最も多いがその比率は下がりつつある。増えているのはベトナムやミャンマーなど東南アジア出身者だ。一部の業種で単純労働者の受け入れを進めている台湾や韓国では、外国人労働者の増加が著しい。台湾で働く外国人労働者は15年末時点で約59万人。この10年間で8割増えた。韓国は約94万人で日本よりも多い。

日本の競争上の④優位性だった賃金の差は円安も響いて縮んでいる。16年1月時点の為替レートで日本の最低賃金をドル換算すると、月額で約1060ドル。ソウルと変わらない水準だ。日本の滞在期間も3年と短い。技術が習得できれば熟練労働者に移行できる韓国や最大12年まで延長できる台湾と比べ、見劣りする。

日本は外国人の単純労働者を認めていない。抜け道となってきた技能実習制度も、違法な条件で雇う業者が一部いるなど問題は多い。

「日本はすばらしい国と思っていたけど……」

技能実習生として、縫製工場で働く20代のベトナム人女性は言葉少なだった。残業代は

最低賃金の半分以下しかもらっていない。労働契約の中身も「知らない」ので、そうした待遇が違法かどうかともわからない。出国するために100万円以上を支払っており「働き続けるしかない」。

潜在成長力低下を補うための移民受け入れ論もくすぶるが「日本は海外から見たときの魅力がなくなっている」のが実情だ。

韓国は⑤慢性的な求人難に直面する一部の業種で、外国人の単純労働者を受け入れている。今年は再入国者1万2千人を含む5万8千人を受け入れる見通しだ。雇用労働省によると、韓国は過去5年間でそれぞれ5万~6万人を非専門就業ビザ（E-9）の資格で受け入れた。昨年10月末現在、約27万7000人が在留している。

韓国人の採用に努めたいうえで募集から一定期間（目安は2週間程度）採用できなければ外国人を雇える。対象は中小製造業や農畜産業、漁業や建設業など。「韓国人が避ける業種で安定して人員を確保するために外国人労働者を認める趣旨」（雇用労働省）だ。

受け入れ先は製造業が大半を占める。韓国政府は鋳造や金型、溶接などの分野で高い技能を持つ外国人労働者を育てようと、2014年から国内の2~4年制大学でこうした外国人を受け入れる制度を始め、現在は8つの大学で実施している。(1)4年以上の勤務経験(2)高卒以上の学歴(3)一定の韓国語能力——などを満たす外国人が対象で16年下半期に最初の卒業生が出る。

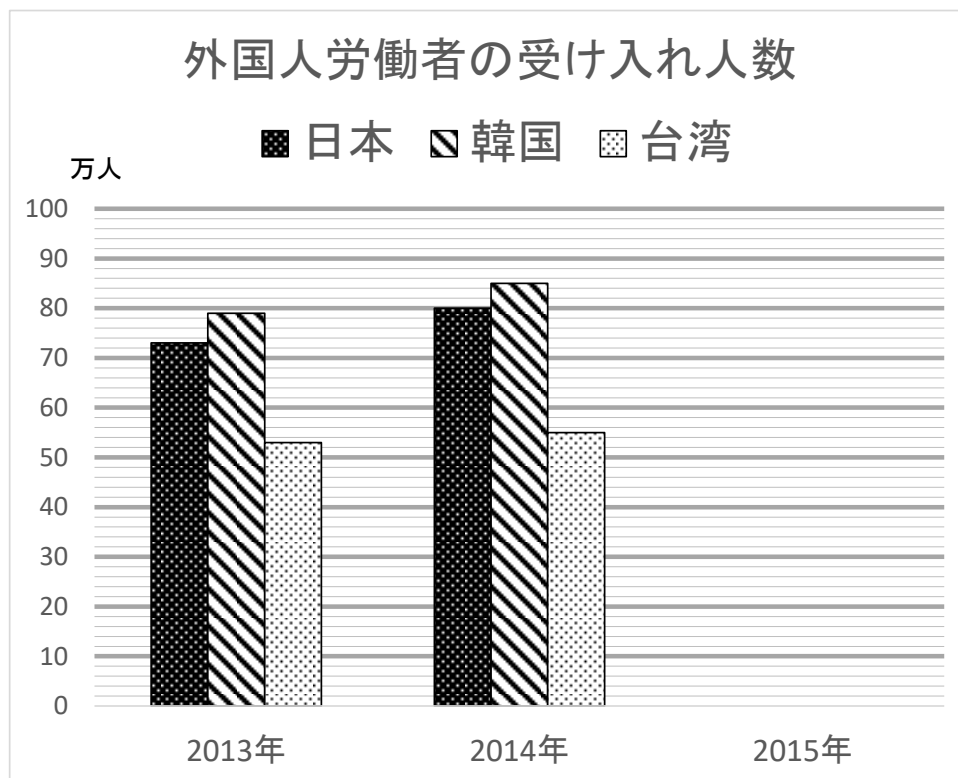
E-9ビザの最長在留期間は4年10カ月だが、鋳造などで一定の技術があると認められた外国人労働者は特定活動ビザ（E-7）への変更が認められる。雇用契約も延長できるので、韓国政府は外国人労働者の定着につながると期待する。

（出所）日本経済新聞（2016年7月18日）。

問1. 資料中の漢字の読み方を、ひらがなで記してください。

- ① 待遇
- ② 懸念
- ③ 盛衰
- ④ 優位性
- ⑤ 慢性的

問2. (B) について、以下のグラフは、2013年から2015年の日本、韓国、台湾の外国人受け入れ人数を示したものである。2015年における日本、韓国、台湾の棒グラフを加えて、グラフを完成させてください。



問3. (A) について、外国人労働者の「日本離れ」が進んでいる原因を、各20字以内で3つ記述してください。

問4. 人口減少と高齢化による労働人口の減少は、日本の経済にとって大きな懸念材料である。外国人労働者受け入れにおける、韓国や台湾との競争や韓国の施策を参考に、日本が受け入れ拡大のための課題と解決策を、外国人の立場で、200字以内で提案してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問4

以上